

第4次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 2024年度運用状況報告

第4次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（計画期間：2022年度から2026年度）を策定、市役所が率先し地球にやさしい職場づくりを推進しています。

この度、2024年度の二酸化炭素排出量を整理しましたので公表します。

2024年度も取組を着実に進めていきましたが、排出係数の変更により二酸化炭素排出量は増加に転じ、短期目標【2026年度に2013年度比42.7%削減】から大幅に後退しました。

一方で、省エネ・創エネの取組に加え、再生可能エネルギー由来の電力（特に木質バイオマス発電）の調達※等による成果により、電力使用量は減少傾向にあります。

引き続き電力使用量の削減に努め、二酸化炭素排出量の短期目標の達成を目指して積極的に取り組んでいきます。

※発電の際の二酸化炭素排出量が影響し、火力発電の比率が高いと二酸化炭素排出量も増加する

■温室効果ガスの排出削減目標

(t-CO₂)

基準年度(2013年度)比

2026年度：42.7%

2030年度：46.7%

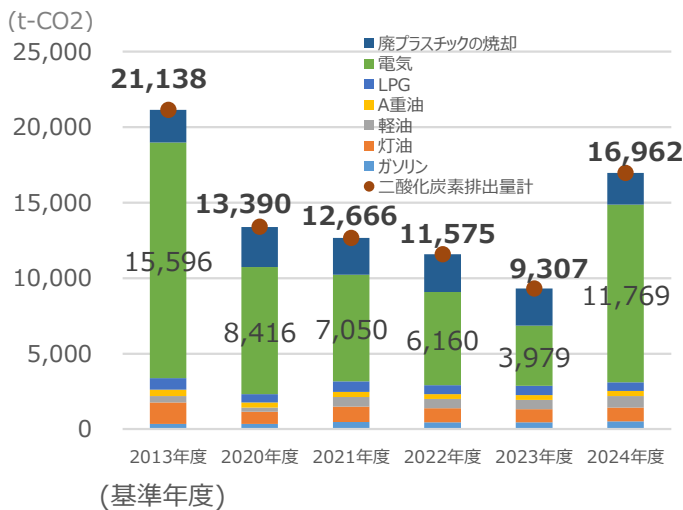
の削減を目標にしています。



■実績

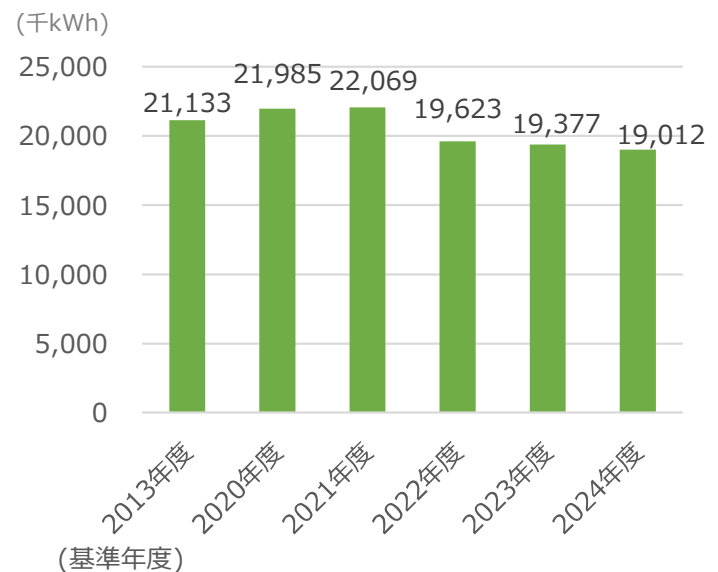
①二酸化炭素排出量の推移

再生可能エネルギー由来の電力（特に木質バイオマス発電）の調達等により、順調に削減が進んでいきましたが、排出係数の変更により、増加に転じました。



②電気使用量の推移

電気使用量は継続して減少しています。



■事業者・市民等への取組

市民・事業者等も含めた脱炭素の取組の指針である真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿い、ごみの減量やCOOL CHOICEの普及啓発等様々な施策を連携して実施していきます。



市ホームページから計画をご確認いただけます